

新造船さるびあ丸の船旅

沼田 雷介

今月 3 日(金)から 4 日(土)にかけて東海汽船の新造船さるびあ丸に乗船しました。所感を交えて船旅の様子を報告致します。

乗船したのは就航 8 航海目でした。

22 時出港なので、東京 23 区内に在住していれば、帰宅後に着替えて充分間に合う時間です。

梅雨の最中で、出港時は土砂降りの雨でした。

往きは特 2 等客室を予約しました。

インターネットで予約すると通常期は 20%、繁忙期で 15%の割引料金で乗船できます。

<https://www.tokaikisen.co.jp/boarding/discount/>

乗客定員 1,343 名に対して往きは乗客数 300 名程度でした。

大半の乗客が伊豆大島で下船します。

東海汽船の往きの船旅の楽しみは、プロムナードデッキで夜風に吹かれながら京浜の夜景を眺めることに尽きると思います。

但し船内の自動販売機で缶ビールを購入するには、運転免許証が必要です。

船内の食堂は食事が 1000~1500 円と高めなので、乗船前に酒の摘まみや朝食用の簡単な弁当くらいは購入しておく、コストパフォーマンスが上がります。

特 2 等室は全室 2 段ベッドの上段でも階段式になっているので、昇り降りが楽になりました。

エンジン音も気にならないくらいに静かで、寝心地が良かったです。

船内では無料の WiFi を利用できます。

翌朝、伊豆大島から利島、新島を経て 9 時 5 分に式根島に入港。ここで下船しました。

野伏港から徒歩 10 分程度の泊海水浴場で寛いで、11 時 25 分出港の復航の便に乗船しました。

神津島が終着港ですが、船の全景を撮影するには新島か式根島で乗下船すると、間近に本船の入出港シーンを撮影できます。

復航は 2 等和室の大部屋を予約しました。

乗客数は 200 名程度でした。

幸い 8 畳近くある一区画を独り占めできました。

ただ簡易な枕が硬く寝心地が悪いため、乗船するなら特 2 等室をお勧めします。

復航は船好きにとって、東京湾に入ると出入りする船の撮影で忙しくなります。

ところが世界的なコロナ騒動の影響か、土曜日にしては出入りする船舶が通常より少

なかったです。

さて乗船した所感です。

ピカピカの新造船は新建材の匂いが漂い、清潔感が溢れていて快適でした。

トイレがきれいだと、乗り心地が特段に快適に感じてきます。

船内は観光航路を思わせる明るい色彩で纏められて、乗船した時わくわくしました。

時化しているときに乗船したわけではないので実態はどうか分かりませんが、ジェットフォールが全便欠航する程度の海況でも揺れを感じませんでした。きっと凌波性に優れた船なのではないかと思います。

またプロムナードデッキの一角に喫煙室が設置されたことも、嫌煙者としては評価したいと思います。先代のさるびあ丸ではプロムナードデッキ下の後部甲板が喫煙場所になっていて、漂ってくる紫煙に何度も不快な思いをしました。

その反面、乗り心地の悪さを感じたこともいくつかあります。

先代のさるびあ丸に比べて決定的に劣るのは、プロムナードデッキが狭いことです。

これだけ狭いオープンデッキでは、来年以降に予定されている夏期の納涼船では、例年より乗客数を制限しないとぎゅう詰め感が出てきて、乗客たちからクレームが出てくるのではないかと思います。

更に言うと、ライフラフトに視界を遮られてプロムナードやその下のデッキも含めて全面的に海を眺められるスペースが限られていることが窮屈に感じました。

プロムナードデッキの上に設けられた展望デッキも救命ボートに視界を遮られて、海を眺めることができません。

プロムナードデッキの上に庇の代わりに、広いオープンデッキを設置してほしかったです。

乗客が少なかった今次の往復航ではあまり不満は感じませんでしたが、繁忙期は展望を巡ってフラストレーションを感じるのではないのでしょうか。

船内には東海汽船で初めてエレベーターを設置しましたが、階段が急なため高齢者にとってエレベーターを使わないと、船内の行き来がキツいだろうなあと感じました。

以上が所感です。

竹芝を 22 時出港、復航は 19 時に入港する運航スケジュールが今後も継続されれば、東京から新神戸までの新幹線の終電に充分間に合う時間帯なので、阪神からも船中泊ワンナイトの日程で気楽に乗船できるのではないのでしょうか。

コロナ感染予防で長距離移動が憚れる世の中になってしまいましたが、この騒動が収まりましたら、長閑な伊豆諸島をノンビリと巡る「さるびあ丸」の船旅。遠方の皆様にもぜひお勧めしたいです。

式根島を入出港するさるびあ丸





式根島野伏港から徒歩 10 分の泊海水浴場



特 2 等客室



2 等和室



先代のさるびあ丸より狭いプロムナードデッキ



プロムナードの食堂



船内の色彩



2等椅子席



特等室



船内のその他の様子は東海汽船の下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.tokaikisen.co.jp/ourship/sandaime-saruvia-room/>